

令和4年度 経営発達支援計画（結果概要）

当所は、令和2年度から5年間の計画に基づき小規模事業者が持続的に事業を発展させるために需要の動向や自らの強み等を分析し、新たな需要を獲得するために商工会議所がこれまで行ってきた経営改善普及事業に、小規模事業者の経営の発達に資する支援を実施した。

令和4年度は、小樽市経済動向調査や市内空き店舗調査を実施したほか、小規模事業者の経営状況の把握や分析を行い、持続的な経営に向けた販路拡大や生産性向上のため小規模事業者持続化補助金等の活用による申請支援を行った。

さらに、伴走型補助金を活用して「事業承継・創業者の掘り起こし事業」では、FMおたるのスポットCMと市内中心部の街頭放送、当所ホームページによる周知・啓発活動を展開し、個別相談による支援に繋がったほか経営指導員等研修会への参加を通じて職員の資質向上を図った。

また、「商品開発・改良支援事業」として、アフターコロナを見据えた新たな販路・売上拡大を目指し、商品開発や改良、パッケージデザインの検討、SNSなどの有効なITを活用した情報発信等の習得のため、専門家派遣を実施し、新たな需要開拓の創出と経営力の向上を図った。

今年度事業の主な結果概要

1. 事業承継・創業者の掘り起こし事業の実施（伴走型補助金）
 - (1)当所ホームページやメディア等を活用した周知
 - (2)全道の事業承継支援をワンストップで行う北海道事業承継・引継ぎ支援センター小樽サテライトの活用促進（R4小樽サテライト個別相談会利用の新規相談14件）
2. 商品開発・改良支援事業の実施（伴走型補助金）
 - (1)商品開発や改良、パッケージデザインの検討方法及びITを活用した販促手法の習得に係る専門家派遣（支援先小規模事業者：飲食業3者、延べ12回）
3. 創業支援サポート連携事業連絡会議の開催（4月26日）
4. 事業承継窓口相談事業連絡会議の開催（4月26日）
5. 経営指導員等研修会への参加（伴走型補助金）
6. 評価委員会の開催（6月6日、3月22日）

事業の成果・評価・見直しについて委員からの主な意見

- ・商品開発・改良支援に係る専門家派遣等の支援先は、創業時からの支援先と小規模事業者持続化補助金申請に係る支援先である。
- ・2年前に小樽市と会議所が共催で開催した「事業承継・創業セミナー」は、事業承継の必要性を多くの方に伝える良い機会と感じたので、是非とも開催していただきたい。
- ・先月、「おたる移住・起業ひと旗サポートセンター」を開設しているが、小樽市内で起業を目指す移住希望者と事業承継を希望している事業者とのマッチング支援は必要である。
- ・事業者からの事業承継に係る相談・課題の掘り起こしとして、(株)東京商工リサーチに委託し、事業者約1,000件に実態調査を行い、課題等を把握し、個別に事業者を訪問し、事業承継に結び付けたいと考えている。
- ・令和4年度の小樽市創業補助金の内外装工事費は上限50万円(1/2補助)であるが、移住者については更に30万円上乗せしている。令和5年度は、内外装工事費は新たに30歳代までの創業者は、更に20万円上乗せの若者加算を設定する。
- ・北海道税理士会小樽支部では、今年11月前後に小樽地域雇用創造協議会(厚生労働省所管)から創業者支援に関するセミナー依頼が来ている。同じ時期に同じ内容のセミナーや個別相談会等があると何処に相談していいのか利用者がわからなくなるため、情報収集し一本化する必要がある。
- ・小規模事業者の経営課題には、柔軟に対応していただきたい。